学校教育目標「かんがえる子（知）・やさしい子（徳）・たくましい子（体）」

新二小だより

令和6年度第 12号
2月3日発行

〒348-0047 埼玉県羽生市大字下新郷 1099 番地　☎048-561-0778　FAX048-563-4203

心身ともに健康でよりよい人生のために

「私たちの体は食べたものでできている」～

校長　駒宮　恵美子

2月

食育研究発表会を行いました

「心身ともに健康に生きる」このことは、予測困難なこれからの時代を生きていく子供たちにとって重要なことです。そこで、本校は令和5年度から「体育」と「食育」の研究に取り組んでいます。

その研究の一端を1月29日（水）に埼玉県教育委員会・埼玉県学校給食会の委嘱による「令和6年度埼玉県小中学校食育指導力向上授業研究協議会」「生きる力を育む食に関する指導モデル校等支援事業」として「食育」の研究発表会を行い、多くの方に御来校いただきました。

研究授業として、**すずかけ学級（1,2組）**による「おでんやさんはじめます」は、すずかけ学級の児童が種から育てた大根をつかったおでんを作り、来校者に振る舞ってくれました。毎日の水やりや間引きなど丁寧に育てた大根です。また、大根を題材にした俳句や、大根を描いた絵手紙にも取り組んでいました。たまねぎの皮をつかった草木染めのバンダナをつけてのおでんやさんは、大盛況となりました。

4年1組は「よくかむことの大切さ」について学習をしました。日頃、自分たちはどのくらいの回数をかんでいるかを知り、「よくかむとどんな良いことがあるのだろう」と話し合いました。たくさんの考えが発表されました。その後、羽生市の栄養教諭である加藤先生から「ひみこのはがい（ー）ぜ」という言葉を教えていただき、よくかむことが体の健康、心の健康に繋がるということを学びました。

6年1組は「病気の予防」について学習しました。生活習慣病の予防のためには「おやつ」の食べ方を工夫しようということでした。朝食・昼食・夕食の食間は4~5時間が望ましく、その時間の捕食としての「おやつ」を考えました。「おやつ」としての摂取カロリーの目安は200kcalが望ましいことを学び、実際のお菓子や飲み物からどのように選んだら良いか。どのような食べ方をしたら良いかということを考えました。

1月の様子

1月9日、10日に書きぞめ競書会を行いました。集中し、それぞれが立派な作品を仕上げていました。

1月10日に5、6年生で社会科見学に行きました。キッザニアでは職業体験、国会では普段見ることのできない所を見学して、貴重な体験となりました。

1月22日に二小タイムを行いました。6年生のリーダシップの元、仲良く元気に遊ぶことができました。

2月の予定と下校時刻

2/1	土		
2	日		
3	月	読み聞かせ(中)	1年 13:40 2~6年 14:35
4	火	さわやかタイム　フッ化物洗口	1~2年 14:35 3~6年 15:30
5	水		1~2年 14:35 3~6年 15:30
6	木	校長講話	1~2年 14:35 3~6年 15:30
7	金	委員会	1~3年 14:35 4~6年 15:30
8	土	ウチドク	
9	日	ウチドク	
10	月	入学説明会	1年 13:40 2~6年 14:35
11	火	建国記念の日	
12	水	代表委員会　なわとび記録会期間~18日	1~2年 14:35 3~6年 15:30
13	木		1~2年 14:35 3~6年 15:30
14	金	クラブ	1~3年 14:35 4~6年 15:30
15	土		
16	日		
17	月	読み聞かせ(高)　フッ化物洗口	1年 13:40 2~6年 14:35
18	火	さわやか　ハッピー歯みがき	1~2年 14:35 3~6年 15:30
19	水	学年末 PTA　懇談会	**全学年 14:35**
20	木	不審者対応訓練	1~2年 14:35 3~6年 15:30
21	金	新通学班編成　5時間授業	**全学年 14:35**
22	土		
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火	さわやか　フッ化物洗口	1~2年 14:35 3~6年 15:30
26	水	児童会　特支合同学習会	1~2年 14:35 3~6年 15:30
27	木		1~2年 14:35 3~6年 15:30
28	金	クラブ(3年生クラブ見学)	1~2年 14:35 **3~6年 15:30**
3/1	土	PTA 新旧役員会9:00	
2	日		
3	月		1年 13:40 2~6年 14:35

「人を良くする『食』　～人は食べたものでできている」

1月29日（水）には「これからの給食の時間における食に関する指導」というテーマで女子栄養大学　松下佳代准教授に講演をしていただきました。

苦手な食材の克服法としては、「まずは、においを嗅いでみよう」「次に少し舐めてみよう」「一口食べてみよう」などの声かけが大切であることや、食べる体験の繰り返しが必要であるというお話しでした。ぜひ、御家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか。